



『 第 3310 回例会 』 2024 年 10 月 10 日(木) 司会 松田 圭司 会長

点 鐘

ロータリーソング 「我等の生業」

四つのテストの唱和 石山 直 会員

ゲスト 0

ビジター 0

入 会 式



本日ご入会されました高橋 隆太 会員

会 長 報 告

- ・ 特にございません。

幹 事 報 告

- ・ ガバナー事務所より「社会奉仕活動実施計画アンケートのお礼と集計報告」が届いております。
- ・ 湯沢日独協会様より「ドイツ・ジークブルク市訪問団関係会のご案内」が届いております。
- ・ 横手東RCより週報が届いております。
- ・ 紅葉例会の出欠を回覧致しますので、まだの方はご記入下さい。

委 員 会 報 告

◎出席委員会 西村 健 委員長

免除会員出席数 22 名

一般会員出席数 20 名

メーク 0 名

計 42 名

(出席率:67.74%)(現在会員数:68名)

◎ニコニコBOX委員会 伊藤 康朗 委員長

・ 木村 定夫 会員

ロータリーのゴルフ大会で優勝カップを頂きました。またアトラクションも頂きました。

.....3口

・ 久家 隆行 会員

千寿苑が10月をもって創業45周年目を迎えました。皆様のご利用、ご支援に感謝申し上げます。記念企画として「感謝の千昌夫オンステージ」を開催致します・10口

・ 高橋 清幸 会員

10月10日に満70歳になりました。高齢者の仲間入りしました。昨日は湯沢RCゴルフ同好会を開催し、多くの会員から参加して頂きまして有難うございました.....2口

・ 松田 圭司 会長

新入会員、高橋隆太君を歓迎してニコニコします.....1口

・ 伊藤 稔 幹事 ・高久 臣一 会員

・ 前田 貞一 会員 ・大沼 健一 会員

上記関連.....各1口

・ 西村 健 会員

妻の誕生日に綺麗なお花を有難うございました.....1口

・ 木村 貞昭 会員

10月5日の夜釣りで76cm、5kgの平目を釣りました.....1口

・ 戸部 克相 会員

9月29日は誕生日でした。美味しいワインを有難うございました.....1口



・小番 孝司 会員

10月24日、誕生日です……………1口

・上野 定之 会員

①本日のプログラム変更申し訳ありません。

②小西会員、急な対応、有難うございます。

③10月20日湯沢市チャレンジラン、湯沢ロータリー1チーム参加決定しました。当日は午前10時15分スタートで、応援お願いします！……………3口

・高橋 伴仁 会員

うどんエキスポ協賛、有難うございました。大盛況で終わることが出来ました……2口

・阿部 和夫 会員

高橋隆太君の入会を歓迎してニコニコと10月誕生月です……………2口

・伊藤 康朗 ニコニコ委員長

お陰様で両関創業150周年を迎える事が出来ました。皆様への感謝を込めてニコニコさせていただきます……………1口

◎雑誌委員会 豊岡 正好 委員長

☆ロータリーの友・10月号読みどころ

・縦組み P19 《卓話の泉》

『あるある相談室』

例会行事



スピーチ【落語の魅力 其の二】

～落語とは人間の業の肯定である～

小西 暁 会員

◆落語基礎知識について

・落語家(江戸上方合わせ約1,000人)

・前座見習い(3ヵ月～1年)・前座(3年～4年)

二つ目(約10年)・真打

・上野鈴本演芸場・新宿末廣亭、池袋演芸場、浅草演芸ホール、国立演芸場

・落語協会(1925年 会長 柳亭市馬)

落語園芸協会(1930年 会長 春風亭昇太)

円楽一門(1980年)立川流(1983年)

◆【時そば】をご紹介

昔二八そばというものがあって十六文で商いをしていた。その理由は二八の十六で二八そばとか、そば粉8分でうどん粉2分とか。冬の寒い夜に屋台に飛び込んできた一人の客。「おう、そば屋さん、何が出来るんだい？え、花まきにしっぽく？じゃしっぽくをこしらいてくんねえ。どうも寒いね」「どうでえ商売の方は？なに？ぱとしねえか？まあ、そのうちにやあいいことあるさ。あきねえといって、あきずにやるこった」待っている途中、食べている時も「看板はあたり屋で縁起がいい」「できるのが早い。江戸っ子は気が短いからこうでなくっちゃ」「割り箸を使っている嬉しいね」「良いどんぶり使ってる」「汁の具合がいい」「ちくわを厚く切ったね、こうでなくちゃ」などと調子よくそば屋を褒める。十六文を支払うのに小銭で間違えるといけないからと店主に手をだすように求める。「いいかい、ひい、ふう、みい、よお、いつ、むう、なな、やあ、今何刻だい？」「へい、九つで」「とお、十一、十二、十三、十四、十五、十六」勘定を払ってすーっと暗闇に消えた。この様子を陰でみていたのが世の中をついでにぼーっと生きているような男。自分にもできるだろうと次の日早めにそば屋に向かった。真似して褒めようとするがどうにももうまうかない。しまいにはそばを早く出せとせかしてしまう始末。そばも不味く器で口まで切ってしまいさんざんな目に。一矢報いるべく男が金を払おうとするが、「銭こまけえんだ手え出しな！ひーふーみーよーいつむーななやあー今何刻でえ！」「へい四つで！」「いつむーななやあ……」トホホ。

この後、聴き手の心を震わす人情噺【文七元結】をご紹介頂きました。三代目古今亭志ん朝師匠の寄席でYouTubeでもご覧いただけます。